



国土交通省  
千曲川河川事務所  
Chikumagawa River Office  
Hokuriku Regional Development Bureau  
Ministry of Land  
Infrastructure, Transport and Tourism

【取り扱い】 本資料の発表をもって解禁

記者発表資料  
平成27年10月23日

## 千曲川・犀川流域を対象とした タイムライン検討会設立のお知らせ

千曲川・犀川流域において国、県、市、地域の関係機関が連携し、大規模水災害の発生に備えるタイムライン(事前防災行動計画)を検討するため「千曲川・犀川流域を対象としたタイムライン検討会」を設立します。

第1回は、検討会の設立と関係者の認識の共有を図ることを目的として、タイムラインの意義や検討会及びワーキンググループの進め方などを説明する予定です。

日 時 : 平成27年10月27日(火)  
10時00分 ~ 12時00分

場 所 : 長野市若里市民文化ホール 会議室2・3  
長野市若里3丁目22番2号

参加機関 : 長野市等18機関

設立趣旨 : 別紙1のとおり

検討会次第 : 別紙2のとおり

### 【配布先】

- ・長野市政記者クラブ
- ・長野県庁会見場
- ・長野市政記者会
- ・日本工業経済新聞社 長野支局

### 【お問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局  
千曲川河川事務所 026(227)7611  
副所長 江戸 均  
防災情報課長 鍛冶 裕幸



千曲川河川事務所 フェイスブック

検索

クリック



国土交通省

千曲川河川事務所

検索

クリック

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>

## 千曲川・犀川流域を対象としたタイムライン検討会

### 設立趣旨書（案）

長野市は、善光寺の門前町として日本全国に親しまれるとともに、経済・文化面にわたる中心的機関が集中され、また、国道18号やJR信越本線などが通る交通の要衝として急速に発展してきた中核市である。

長野市の地形の特徴は、北アルプスに源を発する犀川の扇状地と千曲川の沖積地によって形成された盆地であり、北部の盆地出口が狭窄部となっていることが千曲川の水害リスクを高める要因となっている。近年の出水では、平成18年7月に立ヶ花狭窄部上流で計画高水位に迫る水位を記録しており、氾濫は免れたものの越水や堤防決壊による水害が発生してもおかしくない状況にある。

これに対し、千曲川の堤防整備などのハード対策を進めているものの整備完了には時間を要し、また全国的に時間雨量が50mmを上回る豪雨が増加しているなど、近年、雨の降り方が局地化・集中化・激甚化していることから、ハード対策と合わせ、洪水に対する防災・減災のソフト対策を確実に実施する必要がある。

国土交通省では、第2回「水災害に関する防災・減災対策本部」の中間とりまとめに基づき、タイムラインの策定に関心の高い自治体や企業等とともに、リーディング・プロジェクトとして、水害発生時における防災・減災のための国・県・市・企業等の関係者との連携した先行的な取り組みを推進しているところである。

この度、長野市において関係機関が連携し、住民の生命を守るための防災行動計画を作成するため「千曲川・犀川流域を対象としたタイムライン検討会」を設立するものである。

## 第1回 千曲川・犀川流域を対象としたタイムライン検討会

日時：平成27年10月27日（火）

10：00～12：00

場所：若里文化ホール2階

### 議 事 次 第 （案）

- 1 開会挨拶 （長野市長・北陸地方整備局河川部長）
- 2 委員の紹介
- 3 千曲川・犀川流域を対象としたタイムライン検討会について
  - ・検討会設立趣旨について
  - ・規約（案）
- 4 座長選出（座長代行含む）
- 5 タイムラインについて
  - ・タイムラインの目的と効果について
  - ・リーディング・プロジェクトの先進事例紹介
- 6 検討会の進め方について
  - ・長野市内を対象としたタイムラインの検討について
  - ・ワーキンググループの設置について
  - ・今後の予定について
- 7 その他
- 8 閉会挨拶（千曲川河川事務所長）